

各部の運営方針と目標

平成29年度

平成29年5月

三鷹市



古紙配合率 80%以上
の再生紙を使用

平成29年度『各部の運営方針と目標』の策定にあたって

このたび、平成29（2017）年度の『各部の運営方針と目標』を策定しました。

『各部の運営方針と目標』とは、市民の皆様に向けて「行政の説明責任」を果たすとともに、市による主体的な行政評価に基づく効率的で効果的な「成果重視の自治体運営」を前進させるために公表するもので、私が市長に就任した平成15（2003）年度から毎年度策定しています。

三鷹市では、毎年10月に、市長・副市長・教育長の理事者が、各部ごとに部課長等との協議を重ねる「政策会議」を実施しています。この会議では、当年度事業の進捗状況を確認するとともに、部課長等から新年度に向けた新規事業や事業改善等の提案が行われます。そして、市長の市政運営の理念や問題意識及び新年度に向けた事業イメージと各部からの提案との整合性を図りつつ、最適な新規事業や拡充事業、事業の見直し等を確認する議論を行っています。

この「政策会議」での議論を基礎にとりまとめ、市議会に提案した予算の確定を経て策定した『各部の運営方針と目標』は、市役所の代表であるとともに市民の信託を受けた「市民の代表」である市長と、「部の責任者」である部長との「成果契約」として市民の皆様公表しています。

平成29（2017）年度は、これまで「都市再生」の主要な取り組みとして整備してきた「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」がいよいよオープンし、市民の皆様と、ともに考え、ともに創る「防災」と「元気創造」の活動が広がり、これまで実践してきた「多世代交流」と「多職種連携」の一層の深化を伴いながら、新たな「民学産公の協働」のステージへと歩み出す重要な1年となります。

そして、施設の開設を契機に組織体制を見直し、市長部局に「スポーツと文化部」を創設し、東京都と連携して「太宰治文学館（仮称）」及び「吉村昭書斎（仮称）」の開設に向けた取り組みを含む芸術文化施策の充実を図り、社会教育を含む生涯学習と学校体育を除く市民スポーツ活動の推進と充実に取り組みます。また、同部は市長を本部長とする「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等推進本部」の事務局機能を果たします。

さらに、『第4次三鷹市基本計画（第1次改定）』における最重点プロジェクトの「都市再生」では、公共施設等の長寿命化や適切な再配置を継続し、築52年を経た市庁舎等の建て替えに向けた検討を深めます。同じく最重点プロジェクトの「コミュニティ創生」では、地域における多世代交流と多職種連携の推進により、市民の皆様の心身共の健康増進と地域包括ケアの推進などによる総合的な福祉の充実を図ります。こうした活動を支える基盤には「ライフ・ワーク・バランス（生活と仕事の調和）」の実現が位置付けられます。そこで、市内事業者の「三鷹版働き方改革」の支援を進めるなど、幅広い分野で「民学産公の協働」の深化を図り、「元気創造都市・三鷹」のまちづくりを前進させていきたいと考えています。

少子高齢化等の社会変動に適切に対応するため、三鷹市は『各部の運営方針と目標』の実行に向けて、各部が市民満足度の向上を目指して市民の皆様立場に立った施策を推進し、絶えざる行財政改革を推進し、全職員一丸となって未来志向の持続可能な市政運営に取り組んでまいります。どうぞ皆様の三鷹市政へのご注目とご参画を心からお願い申し上げます。

平成29年（2017）年5月

三鷹市長 清原慶子

目 次

企 画 部	1
総 務 部	8
市 民 部	13
生 活 環 境 部	17
スポーツと文化部	23
健 康 福 祉 部	28
子 ども 政 策 部	34
都 市 整 備 部	40
教 育 部	48

本冊子の構成

本冊子は、それぞれの部ごとに、以下の内容で構成しています。
なお、内容については、4月1日時点での取り組みを記載しています。

1 部の使命・目標に関する認識

- (1) 部の使命・目標
部の使命・目標・果たすべき役割等を記載しています。
- (2) 各課の役割
部を構成する課及び主要な役割を記載しています。

2 部の経営資源

- (1) 職員数
部の職員数及び市職員に占める割合を記載しています。
- (2) 予算規模
部の予算額及び会計別の事業費等を記載しています。

3 実施方針

総括的な部の取り組みの方針や目指していく姿等を記載しています。

4 個別事業とその目標

平成29年度施政方針等に基づき、重点事業を優先順に記載しています。

[用語について]

◇ 人財

三鷹市では、通常使われる「人材」ではなく、「財産」「宝」を意味する、「人財」という言葉を使っています。